

1. コロナ対応について

- ① 令和2年度 コロナ感染症関連の決算について伺いたい。
 コロナ感染対策 ~~対策~~ で 1242億円になって
 いるが、財源は、その内、どれだけだったのか
- ② これは国庫交付金の中で、県が1/2負担しなければなら
 ない支出のためであり、コロナ対策の県単独
 は、やはりたったこの認識でよいのか
- ③ 774と接種と同時にPCR検査を広く
 しても、どこでも気軽に受けられるように
 する必要がある。これから冬に向かえば一層大忙しと
 思うが、どうか
- ④ 11名の庁舎一階で行なっているPCR検査センター
 は、市民から歓迎され7月～9月5日まで、検査数
 は1193件にものぼっている。これに学大でも、
 石巻でも設置の方向である。問題は自己負担、
 1900円をどうするかという点である。
 無料にするための県の思いを十分に果たしてほしい
 いかかか。

2. 広域防災拠点整備事業について

① JR貨物からの用地取得費や移転補償等に
295億円を投入することになったが、

この後、補償費が増大し総額1105に
膨らんだのか

② 昨年度も含め、さまざまな理由で防災拠点の
本格着工は結局、2027年まで伸びるとい
うことだが、供用開始はいつになるのか

3. 災害援護資金の償還について

① 震災から10年余が経過し被災者が生活や住宅
改修のために借りた災害援護資金の返済が大きな
問題となっている。

7月31日現在、13市19町村で、貸付件数は、
24003件で、償還残は276億余であります

被害が一番大きかった石巻市の場合、償還残は
2370人で約25億円、54.5%に相当し、石
巻市から要望されたことは、平成23年に借入れ
した分は14年後の令和7年度に返さなければ
約9億余

なりません。南三陸町に行つた時にも佐藤仁田長から真先に話をされたのは、災害援護資金の問題でした。県は国に協賛し、たぐよかの解決策を講ずるべきと思うがどうか

- ② 東日本大震災は特例で6年お休み、で7年払い(最長)さらに10年経過に合計、23年後に免除される、これについて、これでは支払完了(な)って其の世に行つて(もう)これになる。

免除の所得基準要件を大幅に緩和するべきでは
ないか

3. 住宅再建補助金の延長について

- ① 石巻市では住宅再建に活用できる、震災復興基金が、14億円も残っている。昨年も国に延長を要望し、のびにもらっていた。来年度2A15日までに終わる、住宅再建補助事業であるが、今、申請期間(おれせか)28件も来ている。市独自の住宅再建利子補給は、一戸最大440万にもなり、高しを再建しては「せうか」のポイントになり、収入超過者など、家賃が急増し、家を建てた方が得策と思「か」でている。

新型コロナウイルス(ウツシウ)により工場の遅れなど、理下の情勢を考慮し、国に再度の延長を要望している間、い「か」る。その見直しはどうか